

令和5年度丹後視覚障害者社会教育指導者研修会

令和5年11月14日（火）、視覚障害者団体及びボランティア関係団体の会員、社会教育関係者、企業関係者等を対象に、令和5年度丹後視覚障害者社会教育指導者を開催しました。

今年度は社会福祉法人 丹後視力障害者福祉センター 京都府視覚障害者訪問相談員 堤 隆志 様とNPO法人 視覚障害者支援ネット・チームまなざし理事長 神田 昌胤 様に講演と演習をお世話になり、視覚に障害のある人もない人も心豊かに暮らせる今日社会の実現に向けて研修を行いました。

講演では講師の体験談を通して、障害者権利条約や京都府の条例の概念について学ぶことができました。また、演習では「見えない・見えにくい方の日常あれこれ」というテーマでグループワークを行いました。参加者が見え方の違いや生活について、自身の経験や思いを伝え合い、それぞれの立場で理解を深める機会となりました。

この研修会をとおして、障害のある人もない人も誰もが安心していきいきと暮らしやすい社会づくりの考え方が管内に広がっていくことを期待します。

《感想》

- ・当事者の方たちが生活しやすくなるということは、誰もが暮らしやすくなることにつながり、皆対等に生きていける。そんな世の中になればと思いました。
- ・障害者権利条約の概念は、非常に心に残りました。
- ・視力に障害がある方から、その原因や見え方の状況について教えていただき、学ばせていただきました。みんなが支え合って豊かに生活できる世の中になるようにしていきたいです。

